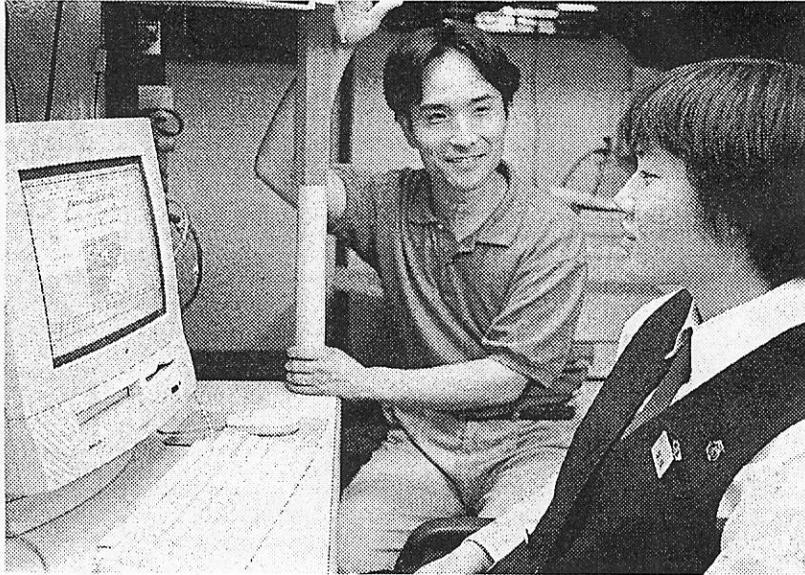


ミカンにかける父の姿紹介

国際ホームページコンテスト

俊成さん(松山北高) 中島分校) 世界2位

世界各国の園児から高校生までが参加して、インターネットのホームページでふるさとを英語で紹介するコンテスト「インターナショナル・スクールズ・サイバーフェア98」で、このほど温泉郡中島町大浦、松山北高中島分校三年俊成千泰(ちほる)さん(も)作成のホームページが部門別の二位に選ばれた。ミカンづくりに情熱を傾ける父親などを紹介した。日本からは一九九六年の二位に続いて二度目の受賞。



作成したホームページを開き、受賞を喜ぶ俊成さん(右)と清家さん。松山市久万ノ台の英語教室

同コンテストは米国サン・ラ描いた。約二十日間かけ、ダイエゴ市のNGO(非政府組織)教育研究団体グループ・スクールハウスの主催。今年で三回目。「環境問題」「地域芸術」など地域社会に関する八部門に、四十三の国と地域から五百二校が応募した。俊成さんは、松山市久万ノ台の英語教室で勉強中。同教室のホームページで「地域の特産物」部門にエントリーした。応募五十三校の中での上位入賞。作品は、九一年にふるさと中島町を襲った台風で、一瞬にして畑を失い、再起をかけて有機農業のミカンづくりに取り組み始めた父洋一さん(四)の姿を、町の歴史や産業を織り込みながら描いた。約二十日間かけ、カメラを携えてミカン山に父の奮闘ぶりを追い、町内を歩いてふるさとの現状を取材した。英文は、同英語教室教師の清家正亀さん(五)が指導した。俊成さんは「ホームページづくりを通じてふるさとの良さを知り、父の生き方を理解することができた。とても喜んでくれたのがうれし」と受賞の喜びを話した。指導した清家さんも「一地方の文化が世界で評価されたことに感激した。短い期間でよく頑張った」と喜んでいる。ホームページのアドレスは<http://www.dokidok.jp/home2/masaki/>